

3 2 期 生 卒 業 式

3月1日（日）、新型コロナウイルスによる感染防止のため、見送る在校生の姿もない中、32期生267名が大きく成長した姿で、3年間の思い出を胸に本校を巣立って行きました。

振り返ると、1年生では入学早々、宿泊研修がありました。クラス別の活動や深山公園でのオリエンテーリングを通じて互いの理解を深め合い、また高校生活で大切なこと（時間を守る。挨拶をきちんとする。勉強の仕方を身に付ける。）を学び、順調に高校生活のスタートがきれたと思っています。平成30年度からは宿泊研修を実施せず、校内オリエンテーションで親睦を深めています。

2年生では、6月に北海道方面と首都圏方面の2カ所に分かれて、入学時から楽しみにしていた修学旅行がありました。各方面で普段では体験できないような場所、施設をスケジュールに組み込み、貴重な体験や活動を通じて視野が広がり、将来の進路を考える新たなきっかけにもなったのではないのでしょうか。また学校行事の中心的役割を果たすようになり、部活動も主体的に頑張っていた様子を思い出します。

最終学年の3年生になると、一人ひとりの進路実現に向けて本格的な受験勉強が始まりました。種々の校外模試を受け、自分の学力を確認し、早い人は9月頃からAO入試、そして推薦入試、年が明けて1月のセンター試験、一般試験と進路を決めるまで大変な1年間であったと思います。

最後に、卒業式で人文系の森 更紗さんが32期生の代表として、答辞を読んでくれました。3年間の様々な思い出を感情込めて、そして保護者はじめお世話になった人々への感謝の気持ちも伝えてくれて、思わず涙を誘われました。式の最後、それぞれが充実した表情で退場していく姿が感動的でした。

卒業後しばらくの間は、喪失感がなかなか抜けませんでした。32期生からもらった大きな元気をバネに、私たち教員も次に出会う生徒のために、また頑張ろうと思っています。



お問い合わせ・ご相談は・・・ 岡山県立総社南高等学校までお気軽にどうぞ
 〒719-1132 総社市三輪 626-1 TEL (0866)93-6811 FAX (0866)93-6855
 ホームページ <http://www.sojam.okayama-c.ed.jp/>



みなみニュース
 第1号（令和2年5月7日）
 岡山県立総社南高等学校

国公立大学合格者61名！！

国立大学		公立大学		私立大学	
入試年度	R2年度	入試年度	R2年度	入試年度	R2年度
大学名	現役	大学名	現役	大学	現役
北見工大	1	都留文科大	1	千葉工大	1
静岡大	1	京都市立芸大	1	駿河台大	1
大阪大	1	岡山県立大	14	東京基督教大	1
島根大	5	新見公立大	2	東京理科大	2
岡山大	7	尾道市立大	5	帝京大	1
香川大	8	福山市立大	4	日本大	1
愛媛大	3	広島市立大	1	日本女子体育大	1
高知大	2	香川県立保健医療大	1	青山学院大	1
国立大合計	28	高知工科大	2	慶応大	1
		北九州市立大	1	東海大	4
		沖縄県立芸大	1	皇學館大	1
		公立大合計	33	成安造形大	1
				京都産業大	5
				京都橋大	2
				京都造形芸大	1
				立命館大	2
				龍谷大	1
				追手門学院大	1
				大阪経済大	3
				大阪芸大	2
				大阪工大	2
				大阪経済法科大	1
				関西大	1
				関西外大	1
				近畿大	7
				阪南大	1
				関西学院大	1
				甲南大	2
				甲南女子大	4
				神戸学院大	1
				神戸女学院大	1
				兵庫大	1
				岡山商大	2
				岡山理大	37
				川崎医療福祉大	42
				山陽学園大	4
				中国学園大	7
				吉備国際大	5
				倉敷芸術科学大	5
				くらしき作陽大	10
				就実大	18
				清心女大	13
				環太平洋大	3
				福山大	3
				日赤広島看護大	1
				広島経済大	2
				広島工大	1
				広島修道大	3
				広島女学院大	1
				安田女子大	1
				松山大	2
				松山東雲女子大	1
				私立大合計	217



平素の学習活動だけでなく、南翔祭・球技大会・修学旅行・クラス活動・部活動・社会貢献活動等にも前向きに取り組み、合格を信じて頑張った成果が出ました。(^^)!



～メッセージ from 卒業生～

第32期生から在校生に向けての熱いメッセージの紹介です。受験勉強はとても大変ですが、進学のために避けては通れない道です。総社南高等学校では一人ひとりの努力を支え、志を叶えるべく、生徒・教職員が一丸となって頑張っています。推薦入試や A0 入試で合格した人、3月まで国公立大学を目指して頑張った人、いろいろな人たちが自分を信じてひた向きに努力することによって、希望の大学に合格していきました。

川上 彩華 岡山大学 教育学部 幼児教育 コース (人文系 真備中学校出身)

私は面接に力を入れました。面接の内容に本を読んでくるという課題がありました。そのことを早くに知っていたため、あらかじめ学校の図書館へ行き司書の先生と相談しながら本をじっくりと選ぶことができました。本はじっくりと読むことができましたが、そのほかのことを考え始めたのはセンター試験が終わってからでした。過去の質問を参考に何を聞かれてもいいように対策をしました。この時私はもっとボランティアに行くなど積極的に様々なことに挑戦しておけばよかったと思いました。志望理由書と同様に経験したことが少ないと書くことがなく内容が薄いものになってしまいます。なので1、2年生のうちからいろいろなことに挑戦しておくといいと思います。

小川 瑞希 岡山県立大学 デザイン学部 造形 デザイン学科 (美工系 倉敷第一中学校出身)

実技はいくら描いても限界はありません。その上、その日のコンディションなども関わってきます。デッサンは数が自分の自信になります。休むことも大切なので、学校のない日は描かない日ももちろんありましたが、できる日は毎日練習しました。他人の長点を自分のものに反映させ、自分の長点はもっと伸ばし、どのような描き方が自分に合うのか模索してください。受験本番では短い時間の中でどれほど作品を完成させるかが問われます。「時間があれば描ける」は受験では通用しません。面接対策では面接ノートを作りました。面接では何を聞かれるのか傾向はあっても確実なものはありません。ノートにすれば先生に添削してもらいやすいし、自分でちょっとしたメモなどを書いたり、資料を貼ったりすることもできます。受験の待機時間に見直すことで、少し落ち着くこともできたのでお勧めです。

三宅 凜 関西外国語大学 英語国際学部 英語国際学科 (国際系 総社南中学校出身)

私が受験を通して学んだことはあきらめないことです。もし苦しくてあきらめそうになってもやめないください。今まで通り一生懸命頑張れば私のようなずっとE判定の人でも希望があると思います。

私は友達や先生など周りの人の温かさをとても感じていました。私が公募推薦で落ちてしまった時に一緒に泣いてくれていた友達。受かった時には自分のことのように喜んでくれた友達や塾の先生。私はとてもいい人たちに出会えたことと心の底から思いました。周りの友達が頑張っていたり、苦しそうにしていたら声をかけてあげてください。それだけで救われると思うし、もっと頑張ろうという気持ちになれると思います。

私は合格した今でももっと早くから勉強しておけば良かったと後悔しています。早くからちよつとずつでもやっておけば私のような後悔がないと思います。皆さんの受験がうまくいきますよう願っています。

江口 主紗 大阪大学 理学部 数学科 (理数系 総社南中学校出身)

僕は、勉強をしていく中で正しい答えを導くことだけではなく導く過程も大切に感じるようになりました。例えば、数学の問題を解く時に、なぜこの方法で正しい答えが出たのかということまで意識する人は少ないと思います。でも、そこを意識して理解することが、一番大切なことだと思っています。過程を大切にすべきというのは他の教科についても言えることだと思うので、勉強するときは常にこのことに気をつけて勉強してほしいと思います。またこれは、主に理系科目での過程を理解するのに有効な手段だと思います。実際の試験でも別解を考えるとそれだけ解答の選択肢が増えるので、より効率のよい解法を選ぶことができ点数アップにつながると思います。

三村 若葉 岡山大学 経済学部 経済学科 (国際系 川上中学校出身)

勉強内容についてですが、やはり一番大切なのは『基礎』だと思います。「基礎ばかりやっけていて、周りにおいて行かれる。」と思うかもしれませんが、基礎が定着するまで我慢できるかが重要です。また、暗記することも多いので、私は電車通学時間と、定着力の上がる寝る前の時間を暗記に費やしました。共通テストは、知識についての理解の質が問われるので、丸暗記ではなく意味暗記がより重要になってくると思います。そして苦手科目は、夏休みには克服した方がいいと思います。私は苦手科目である数学から逃げていたことを一番後悔しています。早い時期から自分の苦手を洗い出し、勉強してもらいたいです。

4月8日 35期生240名が入学!

暖冬の影響で早咲きの桜もほとんど散ることなく、満開の状態でも新入生240名を迎えることができました。新型コロナウイルスの影響が心配されましたが、入学式では新入生代表が見事な宣誓を、初の放送での対面式では代表生徒が「早く高校生活に慣れ、先輩とともに様々な活動がんばりたい」との挨拶を、ともに緊張しながらも力強く行ってくれました。

翌日の木曜日から翌週の月曜日まで3日間、新入生ガイダンスがあり、高校生活を送っていくうえでのルールやマナー、アドバイスなどを聴いたり、実際に授業の受け方を体験したりして学習面の心得を学びました。また、キッチンペーパーを使ってのマスク作り、自己紹介カードの作成とプレゼン、ICT活用ツールの一つである「classi」の研修も行いました。

歴史的な災厄による休校が続く中、一刻も早く終息し、部活動を含めてマスクなしで通常の学校生活を送ることのできる日々が来ることを願っています!

